



題字 旧石鳥谷町長 高橋 公男 氏

在京石鳥谷町人会だより
 事務連絡所 花巻市東京事務所内
 〒100-006
 東京都千代田区有楽町2丁目2番2号
 (数寄屋橋大雅ビル3階)
 TEL:03-3573-5727 FAX:03-3573-5727
 事務局 〒187-0031 東京都小平市
 小川町 1817-39
 大竹雅夫方 TEL:FAX 042-332-3025

ごあいさつ



在京石鳥谷町人会会長
高橋 弘美

会員の皆様こんにちは。高橋弘美でございます。

皆様におかれましては、お健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。さて、今冬はフーニーニャ現象の影響が何回も強い寒気が日本に流れ込み、厳寒と大雪に見舞われまさに寒冬でありました。夏場の台風被害も含め、テレビ等で報道されている東日本大震災の被災地での寒さ対策や豪雪地帯での雪害など深刻なニュースに接する度に、改めて自然の猛威に畏怖の念を覚えるとともに、やはり人間は、特に日本人は自然や、その自然がもたらす脅威ともうまく付き合っていくことが極めて大事なのだ、都会生活に慣らされた私などはつくづく思い知らされたこの一年でした。

そんな中で、ふるさと石鳥谷のニュースを検索して見ますと、大瀬川地区

では恒例の「たろし滝測定会」が行われ、六・六メートルを計測し「今年は豊作」の予測結果とのことでした。又、昨年の総会時に一部を披露していた「八日市つるし雛」が二月十六日、三月三日迄開催され連日大勢の見物客が訪れたとのこと。更に、三月四日には全日本綱引き選手権大会が東京駒沢オリンピック公園で開催され、我がふるさと「チームいしどりや」が十二年連続で出場を果たし、町人会からは二十名弱の方が熱のこもった応援をし、選手の皆さんとの楽しい懇親会が催されました。

このように大変寒い中でも大勢の人と人がふれあう行事が各地で開催されており、それぞれが絆を深めているうちに季節はそろそろ春を迎えようとしています。

実は私は昨年の五月から仕事の関係で大阪に単身赴任しております。花巻市東京事務所からの紹介で関西に『関西岩手県人会』があることを知りまし

た。一月の総会には業務の都合で出席できませんでしたが、会報を読ませて頂いたところ活発に活動されており、特に東日本大震災への支援活動として法善寺門前での街頭募金や、会員からの義援金と合わせて七百万円強の

募金を集めたことには驚きました。又、関西で開催される高校スポーツ大会(野球、ラグビー)には必ず応援団を組織して熱のこもった応援をしていることも知りました。

春の選抜高校野球大会では花巻東高校が出場することで、既に多くの会員の応援参加を呼びかけております。私も甲子園球場に駆けつけたいと思っております。この広報誌が皆様のお手元に届く頃には結果が判明しているとおもいますが、あの菊池雄星投手を擁した三年前の快進撃を是非再現してほしいと思っています。

また、関西岩手県人会の中で石鳥谷出身の方を探してみたいと思っています。ふるさとにまつわる関西でのニュースをできるだけ皆さんにお届けできれば楽しいかなと思います。

また皆さんにお会いできる日を楽しみに、一人大阪でがんばりませー。



在京石鳥谷町人会総会によせて

石鳥谷総合支所
熊谷 佐和子

この十月から、地域振興課で担当をさせていただきことになりました熊谷と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

早いもので、総会・親睦交流会に参加させて頂いてから早一か月となります。完全に『おのぼりさん』の私は、「十一月だ」というのに東京は暖かいなあ」と久しぶりに季節の違いを感じておりました。

そしてもう一つ。この総会・親睦交流会の準備に携わることとなり、役員の方々と連絡をしたり作業をしたりと、関わらせていただきました。

総会では会員の皆様とお話が出来ました。そこでもう一つの「温かさ」を感じることがなりました。それは、会員の皆様のふるさとを想う温かさ、人を思いやる温かさ

でした。その温かさは、きっと、自身をも元気にしているハートの温かさから醸し出されているのだと思ひました。

皆様のお話を伺いながらふるさとを離れて志を立て、家庭を慈しみながらどんなこともいつかは笑い飛ばしてしまうような、そんな逞しさと優しさを垣間見たようなそんな気がしました。

大変おこがましいことは存じますが、素直に『あたたかいな』と感じたことを言葉にさせていただきました。

事務局大竹様はじめ皆様には、年度途中の担当となって不慣れなところ、大変お世話になりました。ありがとうございました。

最後になりましたが、会員の皆さんの益々の健康とご多幸を石鳥谷の地からお祈り申し上げます。

「まめし(す)くておどってへんねや。新幹線だば石鳥谷さすへ着くはんて、いがつたらおどってへんねや。」
(笑)



懐かしい顔と顔
埼玉在住・新堀出身
川村 進

小雨の中、上野駅を降りて西郷隆盛像を脇に見ながら「上野精養軒」へと足を運んだ。上野駅を下車する度に郷土の匂いがする。それは互いに交わす言葉であったり、年配の方の背中荷物であったりする。上京してからの待ち合わせは「西郷さんの前」が定番であった。

そう云えば、十数年前の同級会の集合場所も上野駅であった。要するに上野駅は「心の故郷」でもあり「原点」でもある。

頂いた資料によると、何と二十四回目を迎えるこの事である。受付を済ませ会場内に入ると、まるで上野駅構内の凝集版であった。バイキング料理のおいしさは勿論の事、故郷の餅は今年も格別であった。定番のビール、大迫のワイン・石鳥谷の日本酒と久し振りに大満足であった。舞台でのフラダン又は今年も素晴らしいかった。

時間の経過と共にアルコールの浸透が進み、まるで全身麻酔下の様でもあ

った。参加された方々個々にそれぞれの感想があったと思いますが、特に印象に残った数点に絞り列挙してみたい。

最初は、避けて通れない東日本大震災である。幸いな事に石鳥谷を含め内陸部は広範囲な被害は受けなかった様であるが三陸沿岸は広範囲に甚大な被害をつけた。地震励起による津波によりかけがいの無い尊い命を失った方々に対し、心よりの哀悼の念を申し上げます。

また余儀なく家屋を含め生活基盤を根底から破滅状態に陥った方々に対し、一刻も早い復興復帰を願ってやみません。報告にもありましたが、花巻市全体にも仮設住宅あるいは親戚等に避難されている方々に対し、心よりの見舞い申し上げます。と共に早く元気になります様ご祈念申し上げます。

次に、これまでの石鳥谷町旗が町人会のシンボリックフラッグと認定されたことである。私個人として石鳥谷町の呼称は変わらないがシンボルとしての旗の行方を懸念していた。町人会旗になり胸を撫で下ろした。

次は子供達を中心とした大瀬川の「さんさ踊り」である。石鳥谷を早朝

出発したにも関わらず元気よく明るく頑張って披露して頂いた事に、ご苦勞様、ありがとうございます。



町人会の目玉のアトラクションでもあるくじ引きも楽しかった。ひそかに「お米があたります様に」と祈ったがことしも外れだった。来年に期待したい。

会の終盤に「石鳥谷音頭」に合わせ、全員が輪になって踊り治めを行った。子供の頃の手順を体が覚えてくれていた。閉会に際し「来年も元気で再開」を祈念した。

最後に幹事の皆様・郷土からの議員各位様・関係諸先輩に感謝申し上げ、郷土の益々の発展と在京の仲間達に元気な姿で来年も再開できます事を切に希望します。





初めての東京で
さんおどりの

石鳥谷小学校 五年

菅原 優奈

初めて、東京でさんおどりをやることになって、楽しみでした。会場に来てみると、こうかきれいなところでした。

そしてさんおどりをおどる出番です。練習よりも、ちがった感じでした。

太この音が耳の中までひびいていて、頭の中は太この音だけでいっぱいでした。

「そろそろ」と思っているだけでもビクビクして太この音だけが頭からはなれず、ずっとそのままステージの上立ち、おどらうとしましたが、少しくねてしまいました。



そして、おどりの一番むずかしいところになりました。でも成功したのでうれしかったです。おどりがひととおりおわって、自分ではほっとした気持ちでした。そしてお客さんから「アンコール」という声が聞こえて私は「評判がよかったんだ」と思いました。アンコールのときはおとなだけだったけれど、最後に記念写真もとらせていただいて、私は楽しい、けいけんが生まれました。

東京でのさんおどりで
思ったこと

石鳥谷小学校 六年

菅原 梨花

まさか、さんおどりを東京に行くと披露するなんて思ってもいなかったから、最初東京に行く聞いて、とてもびっくりしました。

あと数十日しかないということで練習を頑張って、いよいよ本番の時がきました。

普段よりも緊張して終わった後に「上手だったよ」、「元気でたよ」などとほめてもらいとても嬉しかったです。

これからも練習を一生懸命やって観ている人に感動をあたえていきたいです

在京石鳥谷町人会に

招かれて

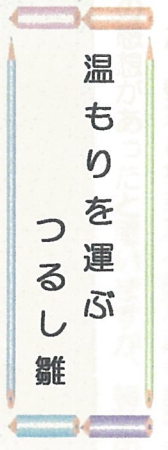
石鳥谷中学校 二年

辻村 羽蘭

石鳥谷町人会にお招きいただきありがとうございます。舞台に向けて一生懸命練習したかいてあって本番



ではとても楽しく踊ることができました。準備などであまりお話しする時間はありませんでしたが、最後に一緒に写真を撮ることができてよかったです。東京に行くことは初めてでしたので、とても良い思い出になりました。まだよんでください。ほんとにありがとうございました。



温もりを運ぶ

つるし雛

八日市つるしびな

代表 高橋 多美

離れば離れる程、年をとればとる程ふるさとを思う気持ちにはこのもなのですね。山を見て川を見て、幼き日の育った町、回りの空気、においなどなど、まさに町人会の皆様のふるさとを思い、ひさしぶりの面会に手をとって、見つめあいいただき、輝かしい一場面を拝見しうれしい気持ちにもなりました。

いしどりや一色のホテルにて、私はいしどりやの公民館に居るような気持ちになり、東京に居るといふ実感が全く感じることができませんでした。

年に一度の出逢いに胸躍らせてその話の中で、しんせき、同級生、隣人の方々を思い出したとってみれば、本当にみなしんせき、みな仲間、ひとつになれる一瞬でした。

八日市では六年前からつるしびなで、今ではリピーターからリピーターで昨年は一万二千人のお客さまを迎えることができました。入口の戸を開けた瞬間お客様のおとろぎ、感激の

のある目、笑顔は本当に苦労して一年かけて作りあげ展示したことにほこりさえ感じます。つるしびなは最後は輪につるされ真ん中には、まりを飾ります。



すべてまるくおさめる和・笑・話として輪、両輪を回し、わっくと前進するいう七宝まりは私の大好きな飾り物のひとつです。

自分の心がすさんだりおちこんだりした時、いつも七宝まりの意味を思い出して心おだやかに心暖かくなる

自分がそこに居ます。

今年はウォーミングアップで、さら今年北寺のかぐらつるしびなをもう一度飾ることになっています。

町人会のふるさとを思う気持ちに、いしどりやの空気を東京にはこんでいきます。

町人会の益々の発展を心から祈り、これからそちらの方に就職するであろう若者に町人会の存在をひとりでも多くの人に伝えていきたいと思えます。

最後に百聞は一見にしかず・・・。つるしびな見いらして下さい。



2012年 全日本綱引き大会応援

桜井 サト



またまたやってきました岩手県女子代表、『チームいしどりや』。

大会当日は在京石鳥谷町人会員で応援に行ってきました。

恒例のメガホンで声を張り上げ、小豆入りのペットボトルをガラガラ鳴らし石鳥谷町人会旗を精一杯振って我が応援団は他のチームに負けじ声援を送りました。

試合は三月四日(日)駒沢オリンピック公園体育館で行われました。南部杜氏の里・石鳥谷町で結成したお酒好きのチームだそうです。

今年で連続十二回出場。対戦相手は和歌山、新潟、東京代表の強豪チームと対戦。残念ながら今年も怪我人が出て選手変更があり惨敗でしたが、毎回出場者は四人も居るそうで長年岩手代表出場の底力となっているのでし



しょう。
 女子ライトフェザー級は八人で、総体重五〇〇kgの決まりがあり競技開始前に計量があるので、試合当日までに食事やサウナで減量させ、試合に向かうそうです。チームワーク、サポートサイドの苦労は大変なものです。
 来年もまたお会いできることを約束してお別れしました。「チームいしどりや」の皆さん大変お疲れ様でした。



応援風景(大迫人会の方も応援に駆けつけてくれました。)

花巻市と四在京会との

情報交換会

飯塚記

二月九日花巻市東京事務所に於いて花巻市から菊池まちづくり部長を迎え、四在京会(花巻・東和・大迫・石鳥谷)、永田東京事務所長、晴山副所長と十三名で開催された。石鳥谷町人会からは、大竹・河嶋両副会長と飯塚が出席。

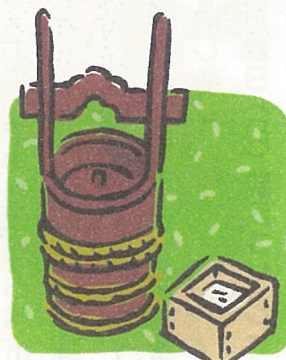
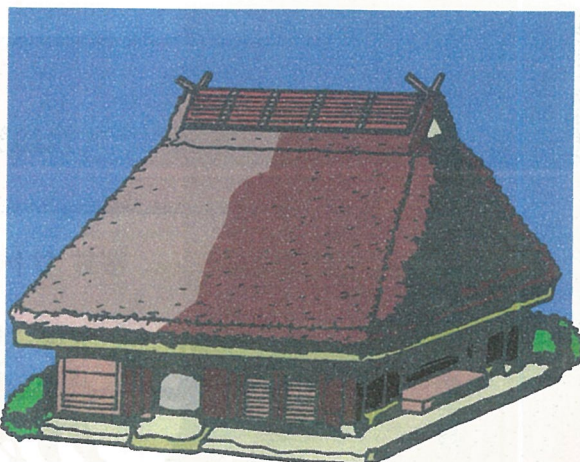
菊池部長から花巻市の人口、財政、職員数、沿岸からの被災者の受け入れ状況の説明と今後のまちづくりの構想(観光・医療・子育ての環境・生涯学習とその推進・スポーツ等)についての説明がありました。

その後、各在京会からの活動報告があり、石鳥谷町人会からは、①ふるさとと交流事業の開催。②総会・親睦交流会の開催。③石鳥谷まつりへの協賛。④会報の発行。⑤物産展への協力。⑥サークル活動。⑦他のふるさと会総会への参加の報告と、今年当番幹事に当たっている「近隣ふるさと会役員懇親会」の開催についての説明を行いました。

各ふるさと会に共通している事は、

会員数の減少です。

その現状の中でふるさと会と花巻市(石鳥谷)への関わりの在り方を改めて考えさせられた交換会でもありませんでした。交換会終了後、席を懇親会へと移しそれぞれの交流をはかりお開きとなりました。



町人会総会・親睦交流会のひとこま



石鳥谷の特産品販売コーナー



女子役員による餅づくり (ウマ〜クできたよ)



大瀬川さんさ踊り

懐かしい民謡を聴く



ステージに向かう (さんさ踊り)



平成23年度在京石鳥谷町人会総会・親睦交流会収支決算書 H23・11・6

単位：円

収 入	支 出	残 高	備 考
603,000			総会参加者77名(同伴者)
321,000			招待者からのお祝い(市関係、近隣ふるさと会)
	816,795		精養軒へ支払
	96,866		総会準備費(案内状・印刷・コピー代)
	17,125		広報はなまき購入代
	56,160		メール便(ヤマト運輸)
	97,987		謝礼(大瀬川さんさ踊り、民謡、ピアノ)
	58,620		日本酒、ワイン
	15,290		まんま屋・石鳥谷観光物産)
924,000	1,158,843	-234,843	

会費納入のお礼とお願い

年会費は平成24年3月20日現在で、郵便振込99名、総会の当日受付34名、計133名266,000円の納入がありました。ご協力ありがとうございます。

会費収入は会報発行費や町人会の活動のために有効に活用させて頂いております。

町人会総会・親睦交流会では思わぬ出会いがあります。懐かしい同級生との再会や、子どもの頃にふるさとで触れた郷土芸能。同郷の友人知人をお誘い合わせの上、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

※年間を通して受け付けております。

年会費 2,000円 口座名義：在京石鳥谷町人会 口座番号：00180-7-261234 会計 山口

主な年間予定・催し物

- ☆4月22日(日) 近隣ふるさと会役員懇親会(西新井大師)
- ☆6月10日(日) 岩手県人の集い(ホテルラングッド→日暮里)
- ☆石鳥谷まつり(8月) ☆下町散策会(月日未定)
- ☆花巻・石鳥谷観光物産展(阿佐ヶ谷すすらん通り商店街一月日未定)
- ☆11月4日(日) 在京石鳥谷町人会総会・親睦交流会(上野精養軒)

**編集後記**

会報の発行にあたっては会員の皆様のご協力ありがとうございます。

会員皆様の会報ですので、体験記、エッセイ、最近思うこと、お気づきの点等、何でも結構です。

投稿をお待ちしております。

会報冒頭の事務局宛てお願いします。

広報部